

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名：一般国道6号 牛久土浦バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点 自) 茨城県つくば市西大井 至) 茨城県土浦市中村西根	延長	3.9 km
事業概要 一般国道6号は、東京都中央区から柏市、土浦市、水戸市などを通過し、仙台市に至る延長約375 kmの主要幹線道路である。牛久土浦バイパスは、一般国道6号（現道）の渋滞解消や圏央道へのアクセス道路としても機能する延長3.9 kmのバイパス事業である。		
H4年度事業化	H6年度都市計画決定	H10年度用地着手
H11年度工事着手		
全体事業費	約220億円	事業進捗率
計画交通量	30,700~32,800台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 10.1 総費用 (残事業/事業全体) 28/253億円 (事業費: 17/237億円 維持管理費: 11/16億円)	総便益 (残事業/事業全体) 282/536億円 (走行時間短縮便益: 285/490億円 走行経費減少便益: -7.8/39億円 交通事故減少便益: 4.9/6.9億円)
感度分析の結果	【残事業】 交通量 : B/C = 11.1~9.0 (交通量±10%) 事業費 : B/C = 9.4~10.9 (事業費±10%) 事業期間 : B/C = 10.2~10.0 (事業期間±20%)	
事業の効果等	「拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベント等を支援する」 他8項目に該当	
関係する地方公共団体等の意見	沿線自治体の首長や議会議長等で構成される「牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備連絡協議会」(1回/年)や「一般国道6号・都市計画道路牛久土浦線等建設促進期成同盟会」(1回/年)より早期整備の要望を受けている。中期計画策定に向けた自治体意見でも当該路線の早期供用の意見を頂いている。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	圏央道（つくばJCT～稲敷IC間）やつくばエクスプレスの開通、周辺地域における土地区画整理事業の進展などに伴い、一般国道6号の交通量が増加し、交通渋滞が深刻化している。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	未供用区間の用地取得率は約99%進捗し、工事についても順調。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地買収・工事を推進しており、平成21年度暫定供用予定。	
施設の構造や工法の変更等	暫定2車線により整備を進め、コスト縮減を図る。	
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	用地・工事の進捗が進んでおり、早期の効果発現を図ることが適切である。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。